



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL <https://www.toa-global.com/ja>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷口 方啓
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078)303-5620
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	48,814	8.2	3,028	76.8	3,710	76.3	1,997	13.1
2023年3月期	45,123	10.4	1,713	△20.7	2,104	△12.6	1,765	20.4

(注) 包括利益 2024年3月期 4,252百万円 (30.6%) 2023年3月期 3,255百万円 (123.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	62.61	—	4.3	5.8	6.2
2023年3月期	54.51	—	3.9	3.4	3.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 2百万円 2023年3月期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	64,734	49,239	72.0	1,549.88
2023年3月期	63,905	48,764	72.4	1,437.61

(参考) 自己資本 2024年3月期 46,583百万円 2023年3月期 46,242百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	5,074	△928	△5,226	14,091
2023年3月期	583	△2,787	△1,442	14,399

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,294	73.4	2.8
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,244	63.9	2.7
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		50.1	

2023年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2024年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2025年3月期配当金(予想)につきましては、4ページ(5)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当に記載のとおり、安定配当40円に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	52,000	6.5	3,700	22.2	3,900	5.1	2,400	20.1	79.85

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年3月期	34,136,635株	2023年3月期	34,136,635株
2024年3月期	4,080,281株	2023年3月期	1,970,633株
2024年3月期	31,909,292株	2023年3月期	32,394,969株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	33,025	5.1	1,028	67.2	2,312	70.3	1,883	△10.3
2023年3月期	31,412	9.5	614	△19.8	1,358	△2.8	2,099	90.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	59.02	—
2023年3月期	64.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	40,193	32,632	81.2	1,085.73
2023年3月期	41,167	33,975	82.5	1,056.25

(参考) 自己資本 2024年3月期 32,632百万円 2023年3月期 33,975百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
- ・当社は、2024年5月24日に機関投資家向け決算説明会（動画ライブ配信）を開催する予定です。なお、決算説明動画および当日使用する決算説明資料は開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	16
(3) 株主資本等変動計算書	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の分類が5類へ移行するなど社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や設備投資意欲の高まりなど、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な国際情勢による地政学的リスクに加え、為替相場の急速な変動や中国の経済成長鈍化など、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは企業価値である「Smiles for the Public ―人々が笑顔になれる社会をつくる―」の実現に向け、2030年を見据えた経営ビジョンとして、「Dr. Sound ―社会の音を良くするプロフェッショナル集団―になる」を掲げております。お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく頼れるパートナーとして、人々の安心・信頼・感動の価値実現を目指しております。

当期においては、PCに文章を入力するだけで簡単に放送アナウンス音源を作成できる「YUTTE」(2023年度グッドデザイン賞受賞)のβ版サービスの提供開始や、ネットワーク上の様々なシステムと連携し、制御することができる放送システム「IPオーディオシリーズ」のラインアップ拡充など、お客さまと多様な接点で価値提供を実現する“つながるビジネス”の展開を推進しております。さらに、地方公共団体や異業種との連携を深め、音や映像を用いた実証実験やコラボレーションを通じて、新成長分野の探索・創造を進めております。

また、当社は2025年日本国際博覧会に「運営参加 ブロンズパートナー」として協賛を開始いたしました。当社は会場全体を「未来の街」のモデルと捉え、今回の取組みを通じて、新たな情報伝達とコミュニケーションの姿を創造・発信し、未来社会に実装していくチャレンジを進めてまいります。

このような状況の下、当期の売上高は48,814百万円(前年同期比+3,690百万円、8.2%増)となりました。利益については、国内販売が伸長したことによる収益性の改善などにより、営業利益は3,028百万円(前年同期比+1,315百万円、76.8%増)、経常利益は3,710百万円(前年同期比+1,605百万円、76.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,997百万円(前年同期比+231百万円、13.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は28,449百万円(前年同期比+1,622百万円、6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は6,348百万円(前年同期比+1,053百万円、19.9%増)となりました。

国内の工場や病院、空港をはじめとする交通市場向けの売上が伸長しました。海外の鉄道車両向けの売上は減少しましたが、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は9,366百万円(前年同期比+998百万円、11.9%増)、セグメント利益(営業利益)は1,731百万円(前年同期比+284百万円、19.7%増)となりました。

イスラム圏においては、ラマダン需要の取り込みにより宗教市場向けの販売が伸長しました。また、ベトナムでは官公庁や大型都市開発プロジェクト、マレーシアやタイでは教育市場向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は6,335百万円(前年同期比+867百万円、15.9%増)、セグメント利益(営業利益)は742百万円(前年同期比+191百万円、34.9%増)となりました。

イギリスでは国立図書館、ベルギーでは交通市場向け、南部アフリカでは病院向けの納入が進みました。また、ドイツを中心に欧州での販売が伸長し、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(アメリカ)

売上高は2,615百万円(前年同期比+78百万円、3.1%増)、セグメント利益(営業利益)は126百万円(前年同期比+72百万円、135.1%増)となりました。

アメリカでは官公庁や教育市場向け、カナダでは病院や教育市場向けの納入が進みました。為替の影響もあり、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は2,046百万円(前年同期比+124百万円、6.5%増)、セグメント利益(営業利益)は157百万円(前年同期比+22百万円、16.3%増)となりました。

中国や香港では市況の回復により販売が堅調に推移しました。中国では空港や教育市場向け、台湾では半導体を中心とした工場向けの納入が進んだことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は64,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ829百万円の増加となりました。資産の部は、投資有価証券の増加などにより増加しました。負債及び純資産の部は、為替換算調整勘定の増加などにより増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動では5,074百万円の資金の増加、投資活動では928百万円の資金の減少、財務活動では5,226百万円の資金の減少などにより、前連結会計年度末と比べて307百万円減少し、14,091百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

法人税等の支払額1,094百万円などがあったものの、税金等調整前当期純利益3,710百万円、減価償却費1,591百万円、棚卸資産の減少額685百万円などにより、営業活動による資金の増加は5,074百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の預入および払戻による収入420百万円があったものの、情報インフラ基盤および生産設備などの固定資産の取得による支出918百万円、関係会社株式の取得による支出400百万円などにより、投資活動による資金の減少は928百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の取得による支出2,318百万円、配当金の支払1,285百万円、短期借入金の減少額965百万円などにより、財務活動による資金の減少は5,226百万円となりました。

(4) 今後の見通し

当社は将来の目指す姿として2030年を見据えた経営ビジョン「Dr. Sound ー社会の音を良くするプロフェッショナル集団ーになる」を掲げ、その実現に向けた活動を進めております。これまで当社が提供してきた屋内外の各種環境や人々の多様性に応じた「聴こえる音、聴き取り易い音」に加え、私たちを取り巻くパブリック空間の音＝「社会の音」がもたらす人々の安心・信頼・感動の体験そのものの創出に、よりアプローチできる価値の実現・提供を進めていくことで、お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく姿を目指しております。

ビジョン実現に向け、2022年3月期から2023年3月期までの中期経営基本計画フェーズ1においては、収益力と競争力の向上、成長基盤の構築、新成長分野の探索と創造を進めてまいりました。そして中期経営基本計画フェーズ2となる2024年3月期から、最終年度である2026年3月期においては、フェーズ1での取組みの成果を最大限に発揮し、付加価値をより拡大させ、収益基盤を強化し、新成長分野の探索と創造を通じて成長を加速させてまいります。一連の取組みを加速させるために、デジタルシフト推進と人材育成に注力いたします。

フェーズ2の1年目にあたる当期においては、デジタルシフト推進として、生産・販売・在庫が連携したサプライチェーン計画システムの稼働を開始いたしました。また、人材育成として、従業員のデジタルスキルの可視化やそれを踏まえた更なる育成・活用施策の検討を進めてまいりました。

フェーズ2の2年目にあたる次期においても、引き続き以下の取組みを継続してまいります。

デジタルシフト推進においては、お客さまとのつながり強化や社内コミュニケーションの活性化、意思決定の迅速化に資するデジタルツールの整備を行い、更に蓄積されたデータを活用したタイムリーな提案による需要の獲得や新たなビジネスの創出のための投資を行っております。これらの導入したインフラを活用し、デジタルマーケティングにより需要を創出し、併せて、デジタルツールを活用し、営業活動品質と営業活動効率の向上、データを活用したサプライチェーン全体の効率化を推進いたします。また、商品では、ネットワークを活用した双方向コミュニケーションを拡大する製品を強化してまいります。

人材育成においては、積極的な対話を通じた信頼関係の醸成、多様性を活かすための人材配置や仕組みづくり、安心して働ける環境の整備を進めており、デジタル技術を活用できる人材の育成により付加価値向上および生産性向上を実現してまいります。

これにより、現時点での2025年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高52,000百万円、営業利益3,700百万円、経常利益3,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,400百万円を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまへの利益還元の充実を経営の優先課題の一つとして位置づけております。

利益配分に関しましては、持続的な成長を目指し、事業への投資拡大を基本としながらも、財務規律のもと安定した配当の向上をはかるとともに、年間40円（中間配当20円および期末配当20円）の配当を維持することを基本として業績を加味し、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

当期における1株当たり配当金は、年間40円（安定配当40円）を予定しております（内20円の配当を中間配当で実施済）。また、次期の1株当たり配当金は、年間で安定配当40円（中間配当20円および期末配当20円）に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,938	16,350
受取手形	2,062	1,992
売掛金	7,626	7,571
契約資産	533	912
商品及び製品	8,423	8,937
仕掛品	827	789
原材料及び貯蔵品	5,542	5,126
その他	979	1,048
貸倒引当金	△81	△95
流動資産合計	42,853	42,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,126	11,261
減価償却累計額	△4,955	△5,327
建物及び構築物(純額)	6,170	5,933
機械装置及び運搬具	2,150	2,351
減価償却累計額	△1,733	△1,942
機械装置及び運搬具(純額)	416	409
工具、器具及び備品	4,161	4,455
減価償却累計額	△3,623	△3,870
工具、器具及び備品(純額)	537	585
土地	2,458	2,469
リース資産	2,024	2,383
減価償却累計額	△923	△1,218
リース資産(純額)	1,100	1,165
建設仮勘定	8	84
有形固定資産合計	10,693	10,648
無形固定資産		
のれん	470	419
ソフトウェア	1,123	1,014
ソフトウェア仮勘定	106	102
その他	158	132
無形固定資産合計	1,859	1,669
投資その他の資産		
投資有価証券	7,256	8,170
繰延税金資産	402	460
退職給付に係る資産	189	520
その他	650	633
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,498	9,784
固定資産合計	21,051	22,101
資産合計	63,905	64,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,483	3,554
短期借入金	2,706	1,836
リース債務	354	418
未払法人税等	641	579
賞与引当金	188	230
製品保証引当金	170	40
その他	2,250	2,917
流動負債合計	9,796	9,578
固定負債		
リース債務	784	770
繰延税金負債	872	1,275
退職給付に係る負債	2,924	3,089
その他	761	781
固定負債合計	5,343	5,917
負債合計	15,140	15,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,045	5,048
利益剰余金	32,152	32,863
自己株式	△1,373	△3,679
株主資本合計	41,103	39,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,444	4,807
為替換算調整勘定	865	2,321
退職給付に係る調整累計額	△171	△58
その他の包括利益累計額合計	5,138	7,070
非支配株主持分	2,522	2,655
純資産合計	48,764	49,239
負債純資産合計	63,905	64,734

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	45,123	48,814
売上原価	26,967	27,895
売上総利益	18,155	20,918
販売費及び一般管理費	16,442	17,890
営業利益	1,713	3,028
営業外収益		
受取利息	34	132
受取配当金	112	128
為替差益	158	351
受取保険金及び配当金	27	18
持分法による投資利益	1	2
その他	149	191
営業外収益合計	484	825
営業外費用		
支払利息	61	95
固定資産圧縮損	—	35
その他	31	12
営業外費用合計	93	143
経常利益	2,104	3,710
特別利益		
土地売却益	522	—
特別利益合計	522	—
税金等調整前当期純利益	2,627	3,710
法人税、住民税及び事業税	812	1,175
法人税等調整額	△144	170
法人税等合計	667	1,346
当期純利益	1,959	2,364
非支配株主に帰属する当期純利益	193	366
親会社株主に帰属する当期純利益	1,765	1,997

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,959	2,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	363
為替換算調整勘定	1,425	1,410
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
退職給付に係る調整額	△147	114
その他の包括利益合計	1,295	1,888
包括利益	3,255	4,252
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,796	3,930
非支配株主に係る包括利益	459	322

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,279	5,065	31,618	△1,352	40,611
当期変動額					
剰余金の配当			△976		△976
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,765		1,765
自己株式の取得				△313	△313
自己株式の処分		2		13	15
自己株式の消却		△278		278	—
その他資本剰余金の負 の残高の振替		255	△255		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△20	533	△20	491
当期末残高	5,279	5,045	32,152	△1,373	41,103

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	4,426	△306	△12	4,108	2,219	46,939
当期変動額						
剰余金の配当						△976
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,765
自己株式の取得						△313
自己株式の処分						15
自己株式の消却						—
その他資本剰余金の負 の残高の振替						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	17	1,171	△158	1,030	303	1,333
当期変動額合計	17	1,171	△158	1,030	303	1,825
当期末残高	4,444	865	△171	5,138	2,522	48,764

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,279	5,045	32,152	△1,373	41,103
当期変動額					
剰余金の配当			△1,286		△1,286
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,997		1,997
自己株式の取得				△2,316	△2,316
自己株式の処分		3		11	14
自己株式の消却					
その他資本剰余金の負 の残高の振替					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3	710	△2,305	△1,591
当期末残高	5,279	5,048	32,863	△3,679	39,512

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	4,444	865	△171	5,138	2,522	48,764
当期変動額						
剰余金の配当						△1,286
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,997
自己株式の取得						△2,316
自己株式の処分						14
自己株式の消却						
その他資本剰余金の負 の残高の振替						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	363	1,456	113	1,932	133	2,065
当期変動額合計	363	1,456	113	1,932	133	474
当期末残高	4,807	2,321	△58	7,070	2,655	49,239

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,627	3,710
減価償却費	1,496	1,591
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△385	△106
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	301	94
受取利息及び受取配当金	△147	△260
為替差損益 (△は益)	△97	△392
持分法による投資損益 (△は益)	△1	△2
支払利息	61	95
土地売却損益 (△は益)	△522	—
固定資産圧縮損	—	35
売上債権の増減額 (△は増加)	△838	△30
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,438	685
仕入債務の増減額 (△は減少)	△459	△62
未払金の増減額 (△は減少)	55	317
その他	702	331
小計	1,353	6,006
利息及び配当金の受取額	141	259
利息の支払額	△64	△96
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△847	△1,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	583	5,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,456	△2,395
定期預金の払戻による収入	666	2,815
有形固定資産の取得による支出	△698	△641
有形固定資産の売却による収入	490	—
無形固定資産の取得による支出	△704	△276
関係会社株式の取得による支出	—	△400
その他	△84	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,787	△928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	409	△965
自己株式の取得による支出	△313	△2,318
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△411	△488
配当金の支払額	△975	△1,285
非支配株主への配当金の支払額	△151	△167
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,442	△5,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	780	773
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,865	△307
現金及び現金同等物の期首残高	17,264	14,399
現金及び現金同等物の期末残高	14,399	14,091

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に音響機器・映像機器等を生産・販売しており、国内においては当社及び国内子会社が、海外においてはアジア、欧州、アメリカ等の各地域を現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア・パシフィック」、「欧州・中東・アフリカ」、「アメリカ」、「中国・東アジア」の5つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。また、報告セグメントの利益は営業利益の数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務 諸表計上額
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,827	8,368	5,468	2,536	1,922	45,123	—	45,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,865	142	23	16	31	5,078	△5,078	—
計	31,692	8,511	5,491	2,552	1,953	50,201	△5,078	45,123
セグメント利益 (営業利益)	5,295	1,446	550	53	135	7,481	△5,768	1,713
セグメント資産	36,189	5,446	6,747	2,186	3,125	53,695	10,209	63,905
その他の項目								
減価償却費	836	123	115	19	67	1,163	333	1,496
のれんの償却額	—	37	6	—	—	44	—	44
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	932	181	195	1	67	1,379	490	1,870

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,768百万円には、セグメント間取引消去△108百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,660百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額10,209百万円には、セグメント間取引消去△763百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産10,973百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の長期投資資金(投資有価証券)と本社部門等に係る資産等であります。

4. 減価償却費の調整額333百万円は、主として本社部門等に係る減価償却費であります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額490百万円は、主として本社部門等に係る投資であります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務 諸表計上額
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,449	9,366	6,335	2,615	2,046	48,814	—	48,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,986	139	20	21	24	5,193	△5,193	—
計	33,436	9,506	6,356	2,636	2,071	54,007	△5,193	48,814
セグメント利益 (営業利益)	6,348	1,731	742	126	157	9,106	△6,077	3,028
セグメント資産	36,728	6,289	6,227	2,023	3,266	54,535	10,199	64,734
その他の項目								
減価償却費	874	134	135	35	67	1,246	344	1,591
のれんの償却額	—	37	6	—	—	44	—	44
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	739	117	115	20	23	1,016	267	1,284

- (注) 1. セグメント利益の調整額△6,077百万円には、セグメント間取引消去△86百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,991百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額10,199百万円には、セグメント間取引消去△1,024百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産11,224百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の長期投資資金(投資有価証券)と本社部門等に係る資産等であります。
4. 減価償却費の調整額344百万円は、主として本社部門等に係る減価償却費であります。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額267百万円は、主として本社部門等に係る投資であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,437.61円	1,549.88円
1株当たり当期純利益	54.51円	62.61円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,765	1,997
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,765	1,997
普通株式の期中平均株式数(株)	32,394,969	31,909,292

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,227	5,953
受取手形	1,952	1,800
売掛金	5,658	5,155
契約資産	6	303
製品	3,553	3,560
仕掛品	12	4
原材料及び貯蔵品	302	308
前払費用	151	160
その他	1,300	272
貸倒引当金	△37	△39
流動資産合計	19,128	17,480
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,496	4,337
構築物（純額）	290	262
機械及び装置（純額）	0	1
工具、器具及び備品（純額）	319	285
土地	2,199	2,199
リース資産（純額）	12	15
建設仮勘定	—	18
有形固定資産合計	7,317	7,120
無形固定資産		
ソフトウェア	1,058	958
ソフトウェア仮勘定	93	88
リース資産	19	11
その他	48	43
無形固定資産合計	1,220	1,101
投資その他の資産		
投資有価証券	7,253	7,768
関係会社株式	4,949	5,349
関係会社出資金	678	678
前払年金費用	385	491
その他	232	202
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	13,499	14,490
固定資産合計	22,038	22,712
資産合計	41,167	40,193

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,651	1,459
リース債務	11	11
未払金	524	512
未払法人税等	517	383
未払費用	315	563
製品保証引当金	69	14
その他	172	577
流動負債合計	3,263	3,523
固定負債		
リース債務	20	15
退職給付引当金	2,256	2,320
繰延税金負債	1,063	1,120
その他	587	580
固定負債合計	3,927	4,037
負債合計	7,191	7,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金		
資本準備金	6,808	6,808
その他資本剰余金	—	3
資本剰余金合計	6,808	6,812
利益剰余金		
利益準備金	679	679
その他利益剰余金		
別途積立金	2,930	2,930
繰越利益剰余金	15,206	15,802
利益剰余金合計	18,816	19,412
自己株式	△1,373	△3,679
株主資本合計	29,531	27,825
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,444	4,807
評価・換算差額等合計	4,444	4,807
純資産合計	33,975	32,632
負債純資産合計	41,167	40,193

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	31,412	33,025
売上原価	20,614	21,367
売上総利益	10,797	11,657
販売費及び一般管理費	10,182	10,629
営業利益	614	1,028
営業外収益		
受取利息及び配当金	505	948
為替差益	207	281
雑収入	39	65
営業外収益合計	752	1,296
営業外費用		
支払利息	5	5
雑損失	4	5
営業外費用合計	9	11
経常利益	1,358	2,312
特別利益		
土地売却益	522	—
移転価格税制調整金	880	—
特別利益合計	1,403	—
税引前当期純利益	2,761	2,312
法人税、住民税及び事業税	385	523
過年度法人税等	220	—
法人税等調整額	56	△93
法人税等合計	662	429
当期純利益	2,099	1,883

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	5,279	6,808	20	6,829	679	2,930	14,339	17,949
当期変動額								
剰余金の配当							△976	△976
当期純利益							2,099	2,099
自己株式の取得								
自己株式の処分			2	2				
自己株式の消却			△278	△278				
その他資本剰余金の負の残高の振替			255	255			△255	△255
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	△20	△20	—	—	867	867
当期末残高	5,279	6,808	—	6,808	679	2,930	15,206	18,816

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,352	28,706	4,426	4,426	33,132
当期変動額					
剰余金の配当		△976			△976
当期純利益		2,099			2,099
自己株式の取得	△313	△313			△313
自己株式の処分	13	15			15
自己株式の消却	278	—			—
その他資本剰余金の負の残高の振替		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			17	17	17
当期変動額合計	△20	825	17	17	842
当期末残高	△1,373	29,531	4,444	4,444	33,975

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	5,279	6,808	—	6,808	679	2,930	15,206	18,816
当期変動額								
剰余金の配当							△1,286	△1,286
当期純利益							1,883	1,883
自己株式の取得								
自己株式の処分			3	3				
自己株式の消却								
その他資本剰余金の負 の残高の振替								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	3	3	—	—	596	596
当期末残高	5,279	6,808	3	6,812	679	2,930	15,802	19,412

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,373	29,531	4,444	4,444	33,975
当期変動額					
剰余金の配当		△1,286			△1,286
当期純利益		1,883			1,883
自己株式の取得	△2,316	△2,316			△2,316
自己株式の処分	11	14			14
自己株式の消却					
その他資本剰余金の負 の残高の振替					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			363	363	363
当期変動額合計	△2,305	△1,705	363	363	△1,342
当期末残高	△3,679	27,825	4,807	4,807	32,632